

経営バイタル の強化書 KEI EI VITAL

令和3年度補正中小企業・小規模事業者関係予算案等のポイント

中小企業・小規模事業者への支援策



令和3年度補正予算が成立し、中小企業・小規模事業者への新型コロナの影響からの復活の支援や事業環境変化への対応支援の他、グリーン・デジタル投資加速化パッケージとして既存の補助金のグリーン枠、デジタル枠が設けられ、インボイス対応のための環境整備に対する補助も行われます。

令和3年度補正予算案のポイントと具体的な補助金について理解しましょう!

1 基本的な課題認識と対応の方向性

令和3年12月20日令和3年度補正予算が成立し、経済産業省の予算額は、5兆4,290億円で、うち3兆8,594億円が中小企業関係の予算となっています。この補正予算案には中小企業への最大250万円の給付金「事業復活支援金」が盛り込まれております。グリーンやデジタル関連の補助金の拡充がみられます。

基本的な課題認識と対応の指向性として

- コロナ禍の影響により厳しい業況にある中小企業・小規模事業者等に事業復活支援金を給付するとともに、資金繰りなど必要な支援に引き続き万全を期す。
 - コロナ禍の影響を乗り越え、中小企業・小規模事業者等の雇用・技術といった経営資源を活かした事業価値の向上を実現するため、事業者に細やかに寄り添いながら、事業再構築・承継・再生・生産性向上を支援する。併せて、取引適正化対策を強化し、前向きな投資や賃上げが可能となる環境を整備する。
 - 加えて、「災害からの復旧・復興、事前の備え（強靭化）」にしつかり取り組んでいく。

があげられ、具体的な取り組みとして、1. 感染症の影響により厳しい状況にある方々の事業や生活・暮らしの支援、2. 事業再構築・承継・再生を目指す事業者の後押し、3. 生産性向上による成長促進、4. 取引環境の改善を始めとする事業環境整備等、

があげられ、具体的な取り組みとして、1. 感染症の影響により厳しい状況にある方々の事業や生活・暮らしの支援、2. 事業再構築・承継・再生を目指す事業者の後押し、3. 生産性向上による成長促進、4. 取引環境の改善を始めとする事業環境整備等、

2 具体的な補助金

具体的な補助金としては、「事業復活支援金」【2.8兆円】、「事業再構築補助金【6,123億円】」、生産性革命推進事業【2,001億円】、事業環境変化対応型支援事業【130.4億円】、デジタルツール等を活用した海外需要拡大事業【12.4億円】、取引適正化等推進事業【8.0億円】等があり、中小企業グリーン・デジタル投資加速化パッケージとして、事業再構築補助金、ものづくり補助金、IT導入補助金、持続化補助金にグリーン枠、デジタル枠、

5. 安全・安心を確保した社会経済活動の再開、6. 災害からの復旧・復興として各種施策が提案されています。

中小企業関係の補正予算案のうち、大きな割合を占めるのはコロナで売り上げが落ち込んだ事業者への給付金「事業復活支援金」ですが、グリーン・デジタルや賃上げ、インボイス制度導入などに対応して補助率や上限額の引き上げが行われる補助金制度にも注目しておくことが必要です。

【図1】中小企業庁関係 令和3年度補正予算のポイント※1

インボイス枠を設けてデジタル化支援のための診断事業も行われることが予定されています。

下記に主な補助金の対象者、開始時期、給付額の概要等について説明します。

● 事業復活支援金

3月までの見通しを立てられるよう、コロナ禍で大きな影響を受ける事業者を対象に、地域・業種を問わず、固定費負担の支援

